

CASBEE-新築(簡易版)2008年版
神川中学校 校舎棟

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2008年

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
				評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質									2.9
Q1 室内環境					0.40				3.1
1 音環境				3.0	0.15	-	-		3.0
1.1 騒音				3.0	0.40	-	-		
1 暗騒音レベル				3.0	1.00	3.0	-		
2 設備騒音対策				-	-	-	-		
1.2 遮音				3.0	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能				3.0	0.30	3.0	-		
2 界壁遮音性能				3.0	0.30	3.0	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	0.20	3.0	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	0.20	3.0	-		
1.3 吸音				3.0	0.20	3.0	-		
2 温熱環境				2.6	0.35	-	-		2.6
2.1 室温制御				3.0	0.50	-	-		
1 室温設定				3.0	0.60	3.0	-		
2 負荷変動・追従制御性				-	-	-	-		
3 外皮性能				3.0	0.40	3.0	-		
4 ゾーン別制御性				3.0	-	-	-		
5 温度・湿度制御				-	-	-	-		
6 個別制御				-	-	-	-		
7 時間外空調に対する配慮				-	-	-	-		
8 監視システム				-	-	-	-		
2.2 湿度制御				1.0	0.20	3.0	-		
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	-		
3 光・視環境				2.8	0.25	-	-		2.8
3.1 屋光利用				3.4	0.30	-	-		
1 屋光率				3.0	0.60	3.0	-		
2 方位別開口				3.0	-	1.0	-		
3 屋光利用設備		教室内の窓側は外光制御センサー内蔵器具を採用。		4.0	0.40	3.0	-		
3.2 グレア対策				2.0	0.30	-	-		
1 照明器具のグレア				-	-	-	-		
2 屋光制御				2.0	1.00	3.0	-		
3.3 照度				3.0	0.15	-	-		
1 照度				3.0	1.00	3.0	-		
2 照度均斉度				-	-	-	-		
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0	-		
4 空気質環境				4.2	0.25	-	-		4.2
4.1 発生源対策				5.0	0.50	-	-		
1 化学汚染物質		全館の使用材料は、告示対象外の建材、F☆☆☆☆の建材を使		5.0	1.00	3.0	-		
2 アスベスト対策				-	-	-	-		
3 ダニ・カビ等				-	-	-	-		
4 レジオネラ対策				-	-	-	-		
4.2 換気				3.6	0.30	-	-		
1 換気量				3.0	0.33	3.0	-		
2 自然換気性能				3.0	0.33	3.0	-		
3 取り入れ外気への配慮		外気取入口を汚染源のない面とし、排気口と異なる方位としてい		5.0	0.33	3.0	-		
4 給気計画				-	-	-	-		
4.3 運用管理				3.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視				1.0	0.50	-	-		
2 喫煙の制御		学校敷地内は全体に禁煙。		5.0	0.50	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-		3.2
1 機能性				3.4	0.40	-	-		3.4
1.1 機能性・使いやすさ				4.0	0.40	-	-		
1 広さ・収納性				3.0	-	3.0	-		
2 高度情報通信設備対応				3.0	-	3.0	-		
3 バリアフリー計画		バリアフリー新法の円滑化誘導基準を満たしている。		4.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	-	-		
1 広さ感・景観				3.0	0.50	3.0	-		
2 リフレッシュスペース				3.0	-	-	-		
3 内装計画				3.0	0.50	3.0	-		
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				3.0	0.31	-	-		3.0
2.1 耐震・免震				3.0	0.48	-	-		
1 耐震性				3.0	0.80	-	-		
2 免震・制振性能				3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.33	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.23	-	-		
2 外壁仕上材の補修必要間隔				3.0	0.23	-	-		
3 主要内装仕上材の更新必要間隔		内装仕上材の更新期間は15年を想定している。		4.0	0.09	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.08	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.15	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.23	-	-		

2.3 適切な更新				-	-	-	-
2.4 信頼性			3.2	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法	官庁施設の総合耐震計画基準:重要機器は耐震クラスS、その他	4.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.3	0.29	-	-	3.3
3.1 空間のゆとり			4.2	0.31	-	-	
1	階高のゆとり	階高は3.9m	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	空地率80%、緑地25%、舗装面積は8%、室外機は屋上設置。	4.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.2
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.6
1 建物の熱負荷抑制		ポイント値152点	4.0	0.30	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用			3.5	0.20	-	-	3.5
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用	ポイント値140点	4.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		外壁に断熱材を設け、高効率の空調機器を採用。 ERR=0	3.7	0.30	-	-	3.7
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護			3.0	0.15	-	-	3.0
1.1	節水		3.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.9	0.63	-	-	2.9
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.09	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		-	-	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.26	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	再生砕石	3.0	0.26	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.07	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.32	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.8	0.22	-	-	3.8
3.1	有害物質を含まない材料の使用	すべての建材は、VOC対応品を使用。	5.0	0.32	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.3	0.68	-	-	
1	消火剤	ハロン消火剤は使用していない。	4.0	0.33	-	-	
2	断熱材		3.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.8
1 地球温暖化への配慮		外壁に断熱材を設け、高効率の空調機器を採用。	3.2	0.33	-	-	3.2
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減	雨水調整槽(約5.7m3)を設け、時間差による自然排水としている。	4.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33	-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			1.6	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	